

A Case of the Week

Case 414

滑膜嚢胞 滑液包炎 ガングリオン

滑膜嚢胞 滑液包炎 ガングリオン

- ・ 共通・・・関節周囲に滑液が貯留
- ・ 滑膜嚢胞・・・関節包が進展し関節面外に広がったもの
- ・ 滑液包炎・・・元来、存在する滑液包が腱の摩擦等で増大したもの
- ・ ガングリオン・・・関節包の滑液が染み出て嚢胞を形成したもの
或いは 腱鞘漿膜から分泌されたもの
(原因不詳)

滑膜嚢胞 滑液包炎 ガングリオン

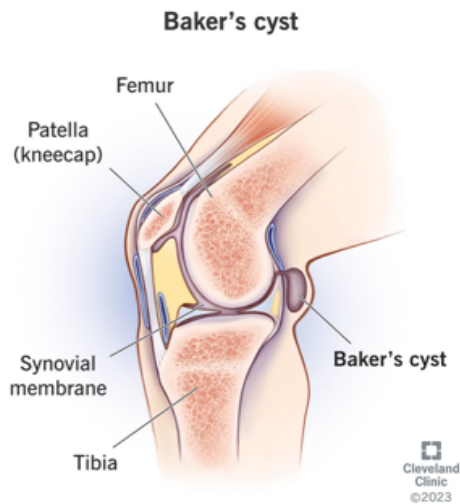
- ・ 共に関節周囲に嚢胞形成
- ・ 滑膜嚢胞：関節腔と連続 液貯留が増大し関節包外に進展
- ・ 滑液包炎：関節腔と不連続 元の滑液包が炎症で腫大
- ・ ガングリオン：関節腔と不連続 関節包から液がリークし嚢胞形成

滑膜嚢胞 Synovial cyst = Baker cyst: 膝の裏側の嚢胞

Baker's Cyst



滑膜嚢胞 Synovial cyst



- 代表的 Baker 嚢胞 膝背側の嚢胞
= 膝窩嚢胞
- 膝を屈曲伸展で痛み
- 種々の関節炎で発症
- 関節包内の液貯留が増加し関節包に覆われたまま関節外へ進展

滑液包炎 = Bursitis

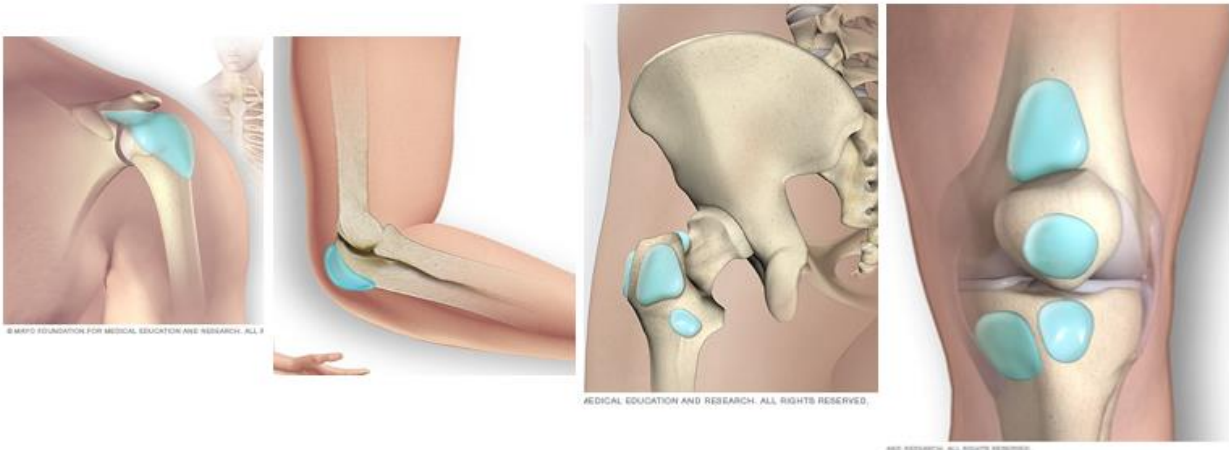
- 滑液包 人体に130以上：関節包と別個だが同じく滑膜で被覆
- 骨の突出部で筋や腱と接する部位に存在
- 使いすぎ、感染、外傷、炎症性
- 非ステロイド系鎮痛剤



滑液包炎

- ・ 滑液包：本来、腱、筋肉の摩擦を緩和するため存在
通常は虚脱
- ・ 腱、筋膜、筋の過剰な摩擦により液貯留
- ・ 腸恥嚢胞＝腸腰筋滑液包
iliopsoas bursaの存在：人体で最大の大きさ
大腿動静脈と大腿神経の間に存在

滑液包、滑液包炎：骨の突出部



関節を含む周囲の筋肉や腱の使い過ぎ
通常 安静、数週間で改善 再発あり

ガングリオンGanglion

- ・ 関節腔と不連続
- ・ 元来の滑液包存在部位と異なる部位
- ・ 原因不詳、関節包から穿孔し液貯留？
腱鞘から分泌？
- ・ 濃縮されるとゼリー状



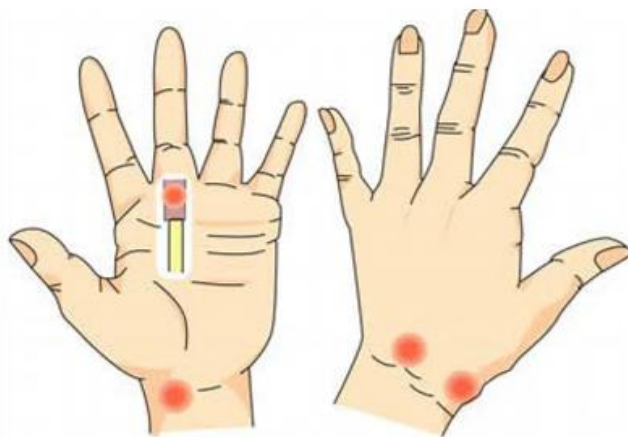
ガングリオン

ガングリオンが できやすい人は？

- ・20～50代の女性
- ・手や指をよく使う
- ・遺伝的要因
- ・体質の影響



穿刺吸引
ステロイド注射



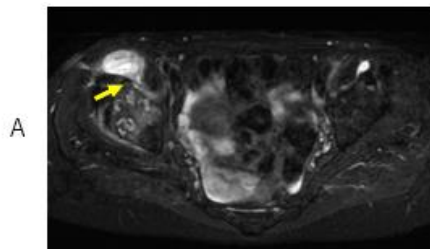
ガングリオンができやすいところ

滑膜嚢胞 滑液包炎 ガングリオン ：関節周囲に嚢胞形成

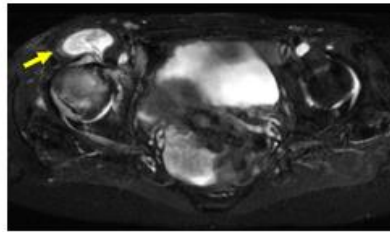
Diffusion WIで高信号 ADCは低下
ADC値は 1.664-1.751



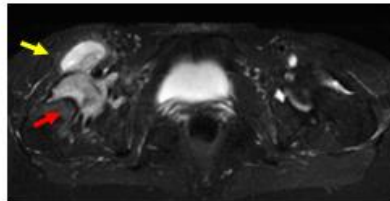
右股関節に関節裂隙の
狭小化と関節面の骨硬化
を認める。



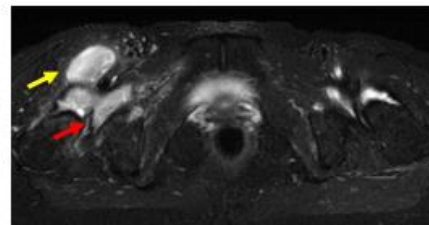
A



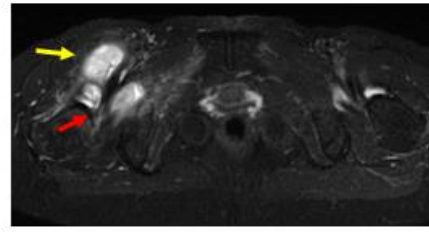
B



C



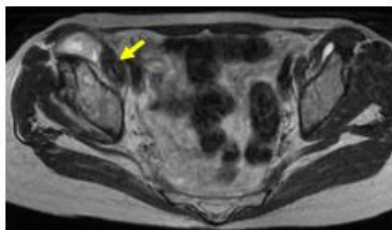
D



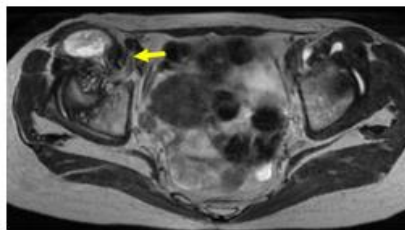
E

右股関節に黄色矢印の嚢胞と赤矢印の嚢胞を認める。

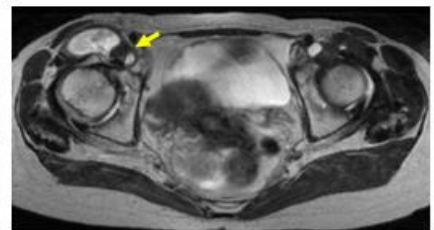
黄色矢印の嚢胞は関節包との連続性は不詳。腸恥関節の上方に位置する。



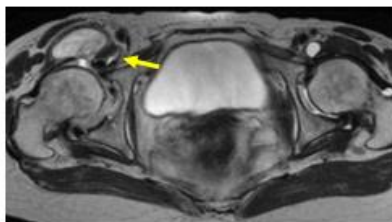
A



B



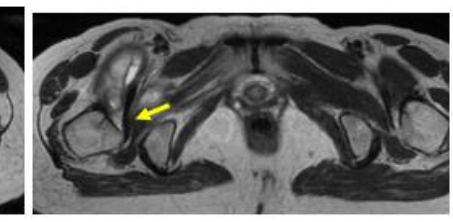
C



D

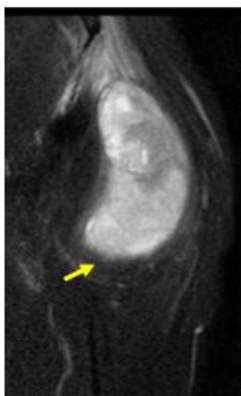


E

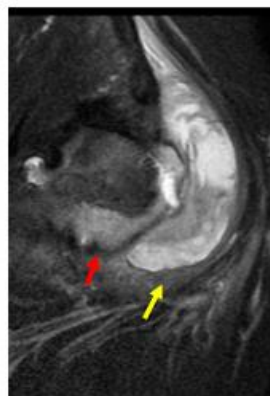


F

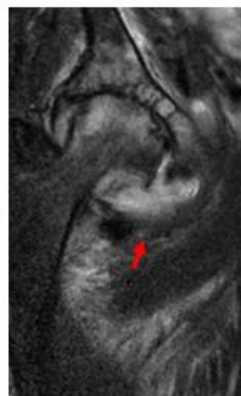
矢印は腸腰筋の走行を示す。腸恥関節の上方を下方に進展し大腿骨小転子に付着している。



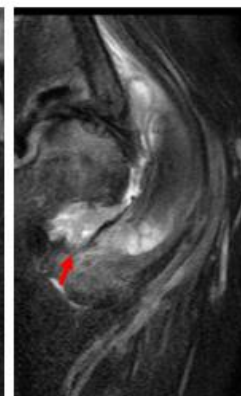
A



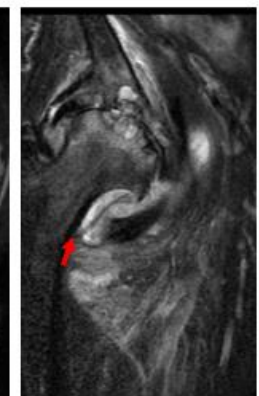
B



C

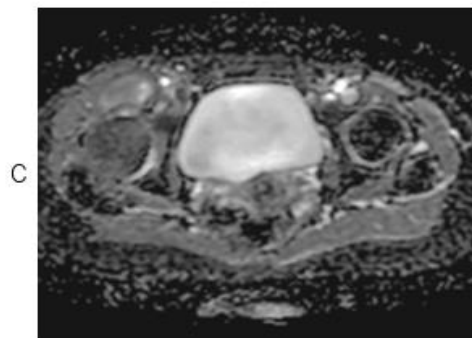
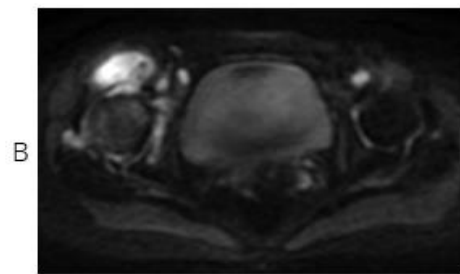
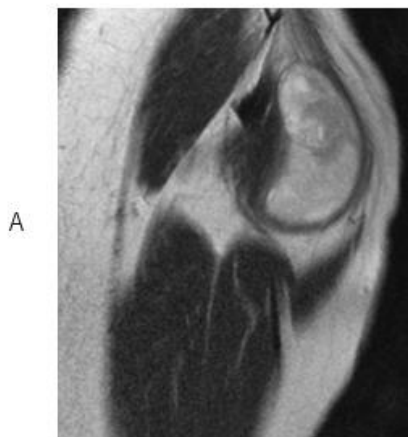
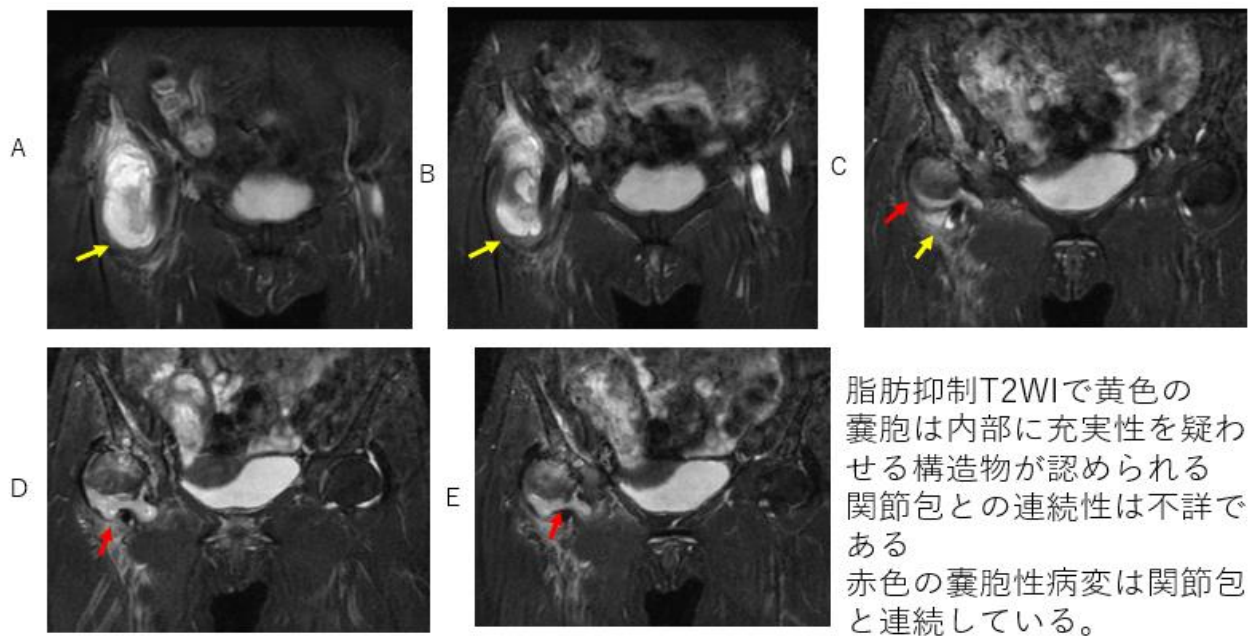


D



E

黄色の嚢胞は腸腰筋の背後に位置している。赤印の嚢胞は関節包と連続している。



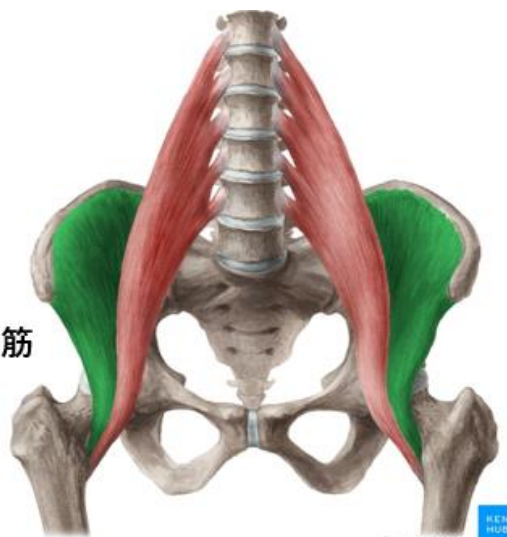
腸腰筋

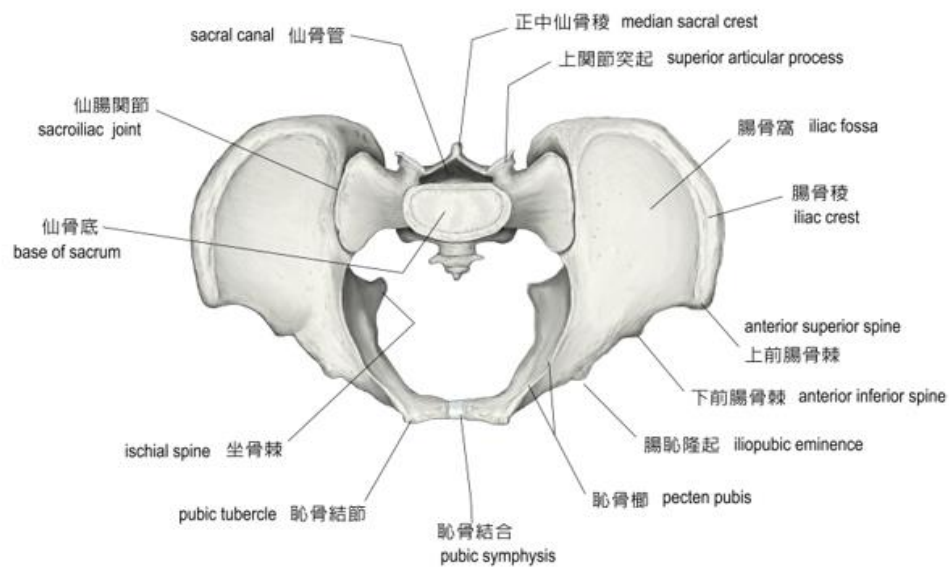
起始部：Th12～L5

付着部：大腿骨小転子

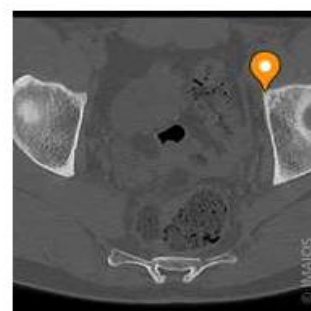
体幹と下肢を直接つなぐ唯一の筋
脊柱—骨盤—大腿骨を結ぶ

骨盤で腸骨と恥骨間を通過
(腸恥隆起を通過)



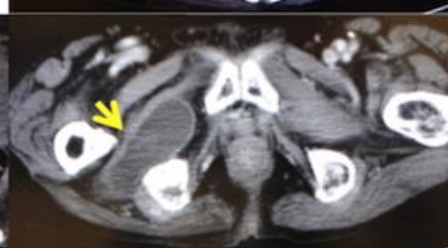
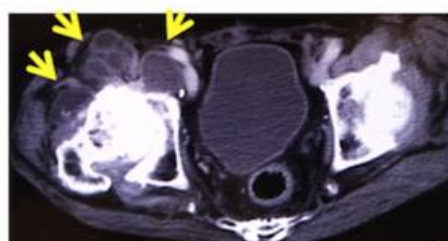


腸恥隆起



腸恥滑液包炎：Iliopsoas bursitis

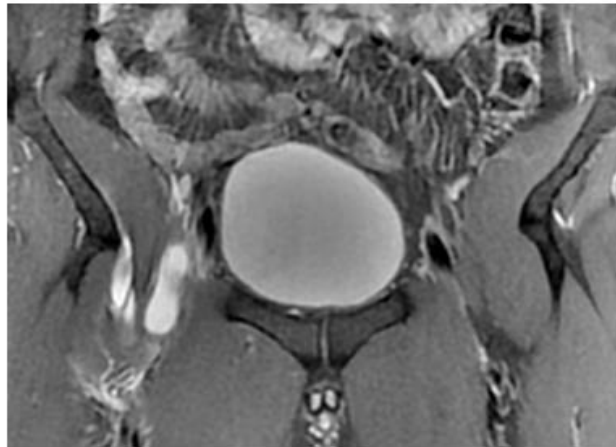
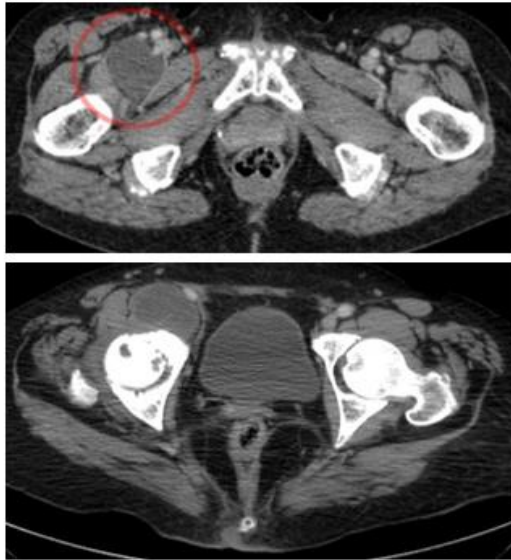
造影CT



前方は腸腰筋、
後方は腸恥隆起、

腸腰筋はTh12～L5
起始部で大腿骨小
転子に付着

滑液包炎；腸恥滑液包炎 iliopsoas bursitis



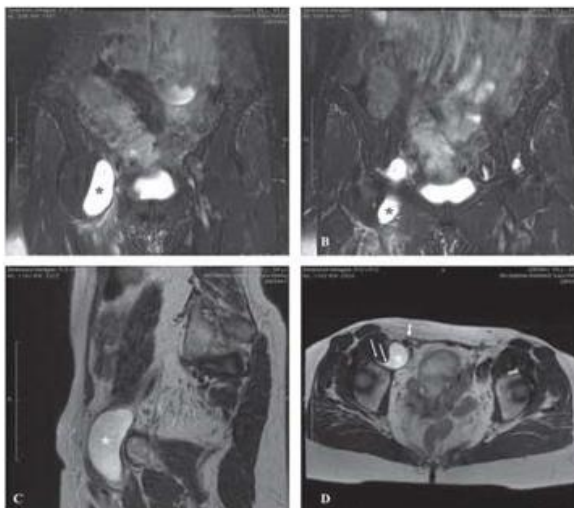
滑膜囊胞：Synovial cyst



Case 1. Magnetic resonance imaging (MRI) examination findings. A,B) Axial T1-weighted images showed low-intensity area, in front of the right hip joint (*asterisk*). It appears as a soft cystic lesion near the vascular bundle (*white arrow*). A communication with joint capsule is clearly identifiable (*small white arrows*). C) Tridimensional reconstruction has been performed to evaluate preoperatively the relations between cystic lesion (*asterisk*) and vascular bundle (*white arrow*)

Angelini A, et al. Synovial cysts of the hip. Acta Biomed. 2017;88(4):483–490. doi: [10.23750/abm.v88i4.6896](https://doi.org/10.23750/abm.v88i4.6896)

滑膜囊胞：Synovial cyst



Angelini A, et al. Synovial cysts of the hip. Acta Biomed. 2017;88(4):483–490. doi: [10.23750/abm.v88i4.6896](https://doi.org/10.23750/abm.v88i4.6896)

ガングリオンと滑液包炎

両方ともに関節に近接した嚢胞性病変

JOINT (ARTICULAR) CAPSULE

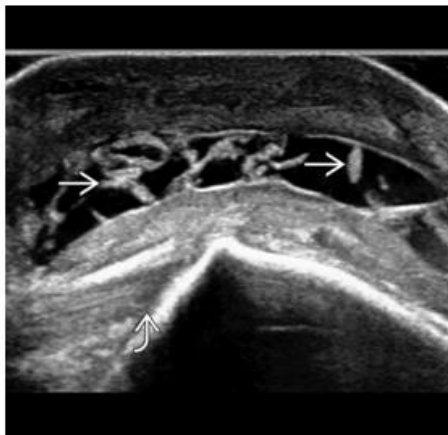
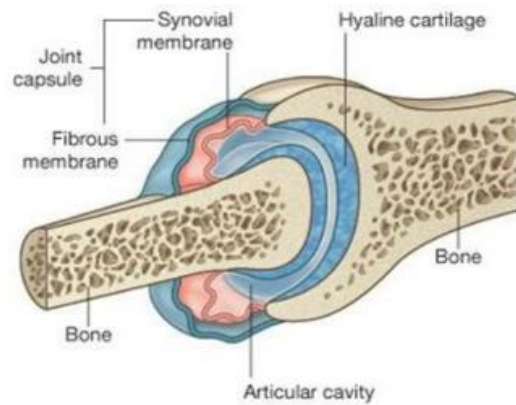
surrounds the joint



two layers.

Fibrous membrane

Synovial membrane



滑膜粘膜の存在

